

5

## 手助けに関する意識調査について

項目	件数	割合	
自ら積極的に声をかけ、手助けする	72	34.4%	72
頼まれたら可能な範囲で手助けする	111	53.1%	111
自分では手伝えないので、家族に知らせる	10	4.8%	10
責任が伴うので対応したくない	2	1.0%	2
部活動などで対応する時間が作れない	9	4.3%	9
手助けする気持ちは無い	3	1.4%	3
その他	2	1.0%	2
合計	209	100%	

手助けに関する意識調査では、「自ら積極的に声をかけ、手助けする」が34.4%、「頼まれたら可能な範囲で手助けする」が53.1%となっており、少なくとも頼むことができれば87.5%の方に助け合いの意識があることになり、困った時に「助けて」を発信できる住民同士の関係づくりが助け合い活動の創出に効果的と思われる。また、隣近所で困っている家庭があった場合、手助けできる内容として「日ごろからの挨拶」が36.8%、「話し相手」が14.2%と高く、比較的軽微な内容が高い傾向が見られた。「電球の交換」や「ゴミ出し」といった項目も手助けできると回答いただいた方も一定数おり、大変心強い結果となっている。

6

## 誰もが暮らしやすい地域づくりに向けた取組み

項目	件数	割合	
地域の人が気軽に交流できる場づくり	109	20.6%	109
高齢者や子供への見守り体制を整える	44	8.3%	44
日常の色々な困りごとに関する身近な相談窓口を整備する	24	4.5%	24
バスやJRなど移動手段を整備する	64	12.1%	64
災害に備える体制づくり	79	15.0%	79
道路や建物のバリアフリー化を進める	36	6.8%	36
川や公園など自然環境を整える	79	15.0%	79
買い物がしやすい環境づくり	57	10.8%	57
支援が必要な人（高齢者や障害者、子どもなど）への支援	33	6.3%	33
その他	3	0.6%	3
合計	528	100%	

今住んでいる地域が、誰もが暮らしやすい地域にしていくための取組みに関する質問では、「地域の人が気軽に交流できる場づくり」が20.6%と最も高く、次いで「災害に備える体制づくり」が15.0%、「川や公園など自然環境を整える」が15.0%と高くなっている。

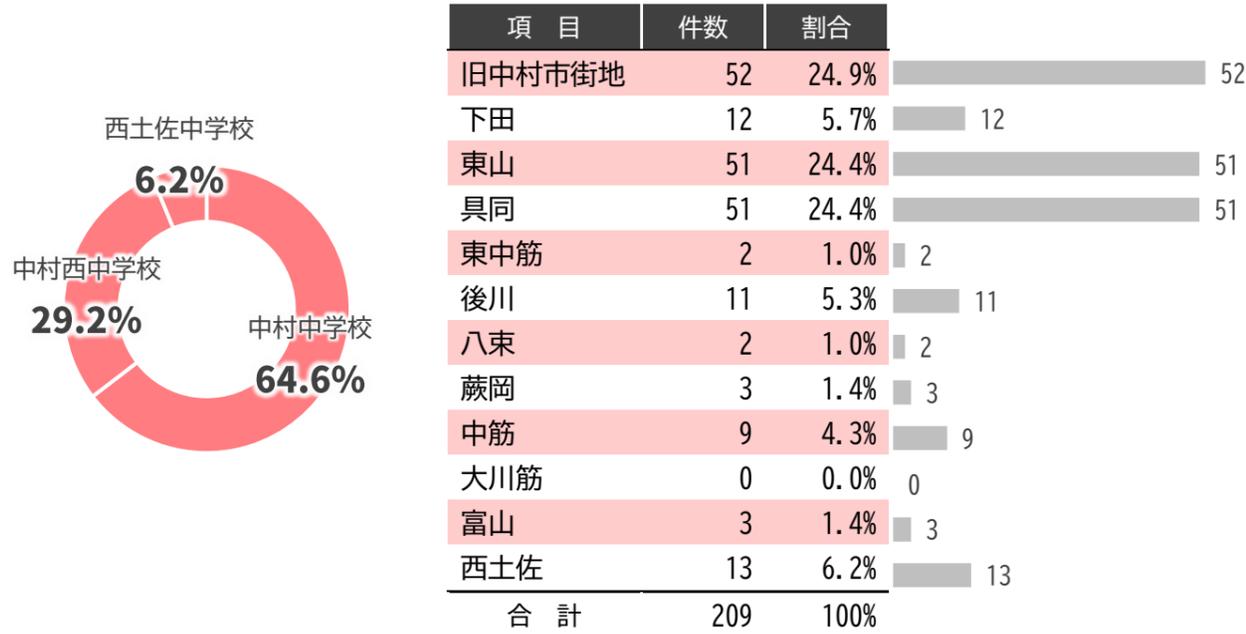
# R6年度 四万十市地域福祉計画 中学生アンケート結果報告書

簡易版

# 令和6年度中学生アンケート結果のご報告

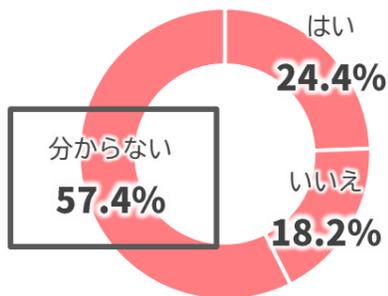
四万十市の将来を担う皆さんの地域福祉に関する考えや実態を把握するとともに、福祉に関する意見を集約し、第4期四万十市地域福祉計画に反映していくことを目的に調査を実施しました。アンケートに回答いただきました中学生の皆様、調査にご協力いただいた学校関係者の皆様、誠にありがとうございました。

## 1 調査対象者の属性

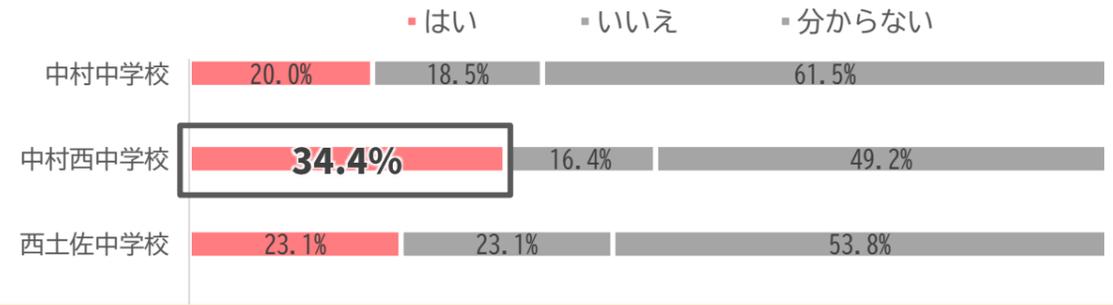


調査対象とした中学校3校の内訳では、「中村中学校」が64.6%、「中村西中学校」が29.2%、「西土佐中学校」が6.2%となっている。回答者が住んでいる地域では、「旧中村市街地」が24.9%、「東山」が24.4%、「具同」が24.4%と高く、世帯数が多い地域性を反映している。

## 2 地域福祉に関する興味・関心



中学生の”地域福祉”に関する興味・関心に関する質問では、「はい（関心がある）」と回答した方が24.4%と低調であるが、「わからない」と回答した方が57.4%を占めており、地域福祉に関する理解促進が不十分な状況が伺え、福祉教育の強化の必要性が考えられる。

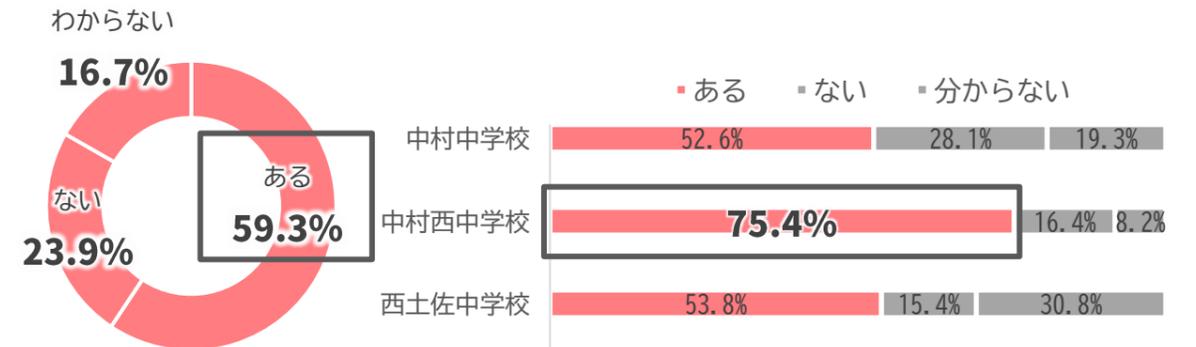


学校別に地域福祉に関する興味・関心を集計したところ、「中村西中学校」で「はい（関心がある）」の割合が34.4%と高い傾向が見られた。

## 3 自分の住む地域の「良いところや自慢できるところ」 & 「悪いところや問題点」

自分の住む地域の「良いところや自慢できるところ」としては、圧倒的に自然環境を挙げる方が多く、豊かな自然や四万十川を地域の強みと捉えていると思われる。また、田舎ならではの地域住民同士のつながりの強さや温かい人間性を挙げられる方も一定数見られている。一方で、「悪いところや問題点」では、田舎が故に大型の商業施設や娯楽施設が少ない環境面を挙げる方が多く見られている。また、過疎・高齢化や人口減少を問題視している方や、交通の便の悪さを感じている方も多い。

## 4 ボランティア活動等の経験について



ボランティア活動等の経験に関する質問では、「（経験が）ある」と回答した方が59.3%と高く、半数以上の中学生がボランティア活動や各種支援活動に取り組んだ経験を有していることがわかる。学校別に集計したところ、中村西中学校で「（経験が）ある」の割合が高い傾向が見られている。ボランティア活動の種類では、「地域の清掃活動」が32.9%と高く、次いで「地区のお祭りや盆踊り」が26.6%と高い傾向があった。